

斎場御嶽のデジタルアーカイブ化と多様な利・活用の在り方について

前城盛雄 * 1、稲福純夫 * 2、井上透、加治工尚子、眞喜志悦子 * 3

＜概要＞ 斎場御嶽や琉球王国時代のグスク等の文化財は世界遺産登録された。伝統・文化に関する教育の実践が求められているが、斎場御嶽の現地調査やオーラルヒストリーをもとに、斎場御嶽についての教材をデジタルアーカイブ化した。その利・活用について調査研究したので報告する。なお、教材の内容は小学生高学年、中学生を想定したものである。

＜キーワード＞ 琉球王国、伝統文化、世界遺産、文化情報、デジタルアーカイブ

1. はじめに

島嶼県沖縄における「デジタルアーカイブと教育」の一環として、世界遺産・斎場御嶽の教材をデジタルアーカイブ化した。特に斎場御嶽を訪れ体験学習が困難な離島の学校で利・活用できるデジタル教材づくりをめざした。

また、斎場御嶽について、学校の教材、修学旅行の事前学習教材として、斎場御嶽の様子をデジタルアーカイブ化した教材で子どもたちが学習ができるようにしたい。

2. 教材の構成

小学生高学年・中学生用学習材

(1) 斎場御嶽（セーファウタキ）を研究しよう！

- ①御嶽（ウタキ）とは？
- ②なぜ斎場御嶽とよばれるの？
- ③なぜ琉球で最高の聖地なの？
 - 東御廻り（アガリウマーイ）
 - 聞得大君（キコエオオキミ）
 - お新下り（オアラオリ）
- ④ウタキの中のイビ（しんいき）とは？
 - a 大庫理（ウフグーイ）
 - b 寄満（ユインチ）
 - 琉球王国時代の交易（こうえき）
 - c シキヨダユルアマガヌビー
 - d アマダユルアシカヌビー
 - e 三庫理（サングーイ）
 - f 「チョウノハナ」
- ⑤沖縄戦の傷跡が残る艦砲穴（きずあと）
- ⑥発掘調査でマガタマが出たよ！
（かんぼうあな）

(2) 斎場御嶽（セーファウタキ）の森には多くの生き物たちがいます

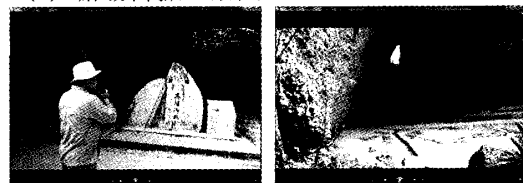
- ①植物の仲間たち
- ②昆虫（こんちゅう）やチョウの仲間たち
- ③は虫類や両生類の仲間たち
- ④鳥の仲間たち
- ⑤カタツムリの仲間たち
- ⑥ほ乳類（にゅうるい）やその他の仲間たち

3. 映像で見る斎場御嶽の概要

(1) 斎場御嶽の静止画



(2) 斎場御嶽の動画



* 1 MAESHIRO Morio : 沖縄女子短期大学

* 2 INAFUKU Sumio : 沖縄女子短期大学

* 3 INOUE Tooru, KAJIKU Naoko, MAKISHI Etsuko : 岐阜女子大学

(3) 静止画で見る祈りの様子



御嶽内各所での祈りの様子
(撮影：前城 2012年・2013年)

4. 比嘉勇仁オーラルヒストリー

かつて、琉球王府から管理をゆだねられていた久手堅ノロの子孫である比嘉勇仁氏から、戦前、戦中、戦後の斎場御嶽の様子について語っていただき収録をした。

話し手：比嘉勇仁氏

(ウチナー名はンジュ、97歳、小学校教員、知念村議会議長等歴任)

収録日時・条件等は下記の通りである

撮影日時：2013年7月27日(土) 10:00～12:00

撮影場所：比嘉家(南城市知念字久手堅92番地)

撮影取材器機：デジタルビデオカメラ1台、

デジタルカメラ1台、音声レコーダー1台

収録時間：46分38秒

話しの内容は、次の4つのテーマについて比嘉勇仁氏に自由に語っていただいた。

- ・テーマ1「セーフアウタキの今と昔」
一戦前・戦後一 (13分47秒)
- ・テーマ2「幼少期の祖父と祖母(ノロ)の思い出」
一久手堅ノロと斎場御嶽一 (15分38秒)
- ・テーマ3「沖縄戦と斎場御嶽」(12分40秒)
- ・テーマ4「斎場御嶽と東御廻り」(4分33秒)

収録した内容については文字起こしを行い、テキストファイルで保存した。

比嘉勇仁：前城さんから私に対してサイハのことをお聴きしていますので、私が知っている範囲内でお話ししたいと思っています。聞いてみると、字は斎場(サイハ)という字、セーフアという呼び名は昔の方々はセーフアと呼んでおりましたが、しかし、字は斎場、今はサイハとなっています。

セーフアの入口は、身を浄める、サイハに入るときは、本当は久手堅にトウマドゥンがあります。

そのトウマドゥンで拝んでからサイハを拝むようになっておったんですが昔は、今はしかし、すぐサイハに行って拝んでおるんですが、サイハの入口はウローカーといって身を浄める井戸であります。

それを身を浄めてからカミミチ、上の方はカミミチ(神道)で、下の方は百姓の通る道になっております。上のカミミチを通ってウジョウグチの階段を上って、そこまでは一般の方は拝むことができますが、中には男は一般は入れないということで、そこまでしか一般は昔は入れなかったです。しかし、今は、中に皆入るようになってトウマドゥンを拝まないで、すぐ向こうに拝みに、拝んでいるようですが、昔は男はウシンチーして、女の姿をして入れたそうですが、そうでないときは入れなかったそうです。

今はお賽銭でお金ですが、昔は線香でありました。前は線香をとばしておったらしいですが、あちこち火事になってそれから線香を灯さないで拝むようになって、その線香はヌンドゥンチが、ノロがウサンデーを下げるができるんですが、一般の人はぜんぜん取れなかったです。そして、ノロがまた昔のたばこをつける線香これでやっておりましたので、みんながまたノロのところに来て線香をもらっておったようです。それからウジョウグチを上っていくと、・・・グーイといつか、そういうのがありますけれども、私はもうすべての先生方がそこは研究なされていると思いますので、私はサイハの昔のナニを聞くと、サイハはアカギの木が茂って天も見えないぐらい、昼も暗くて歩けないぐらいというふうな山であったようであります。

それもしくは、その山がしかし、その拝所の周辺のナンであって、ほかの方は家を葺(ふ)く時にカヤが必要で、そのカヤ毛であったのであります。拝所の周辺が山で、他はみなカヤ山。



オーラルヒストリー撮影の様子 (写真)



比嘉家に残されたマガタマ (写真)



比嘉勇仁宅 ヒンプン前 2013年7月

《オーラルヒストリー関連資料》

勇仁氏ヒストリー
 琉球王国の神職
 琉球王国関連年表
 久手堅のノロ
 琉球王国の神職組織図
 沖縄戦関連年表
 沖縄戦と住民疎開
 沖縄の戦後史関連の年表
 ノロとユタ
 アガリウマーイ

シマクトゥバと用語の解説
 斎場御嶽の整備事業

《教材化の候補》

- ① 斎場御嶽 斎場御嶽関連年表
 琉球開びやく神話
 東御廻り
 聞得大君とお新下り
 斎場御嶽の地質と地形
 観光資源としての斎場御嶽
 斎場の杜と生き物たち
 斎場神社創立奉賛会
- ② 琉球・沖縄の御嶽
- ③ 世界遺産及び関連遺産群

5. 予想される効果

教材のデジタルアーカイブ化によって、離島に住む子どもたちや、心身の都合等で斎場御嶽を直接訪ねることが困難な子供たちが、斎場御嶽について学ぶことができる。いつでもどこでも、学校でも自宅でも学ぶことができる。同様に、広く県外や世界の子供たち、30万人を超える世界のウチナーンチュの子供たちが沖縄の伝統と文化について学ぶことが可能となる。

・各種メディアによる教材を揃えることによって、子どもたちが自分の目線で、学ぶテーマを選択したり、提供された教材をベースにして編集、加工、発表ができるようになる。「総合的な学習の時間」や自由研究等の学びの在り方が、子供たちがより主体的、より積極的なものになる。教材のデジタルアーカイブ化は子供たちの興味・関心を大きく広げ、自らすすんで学ぶ意欲を高める教育的効果が期待できる。

・電子黒板の導入で、デジタル教材へのニーズが一層高まることになるが、教材のデジタルアーカイブ化はこのニーズに応えることができる。

教材改善の取り組みで広く県内外の指導者との交流が可能となる。

・オーラルヒストリーに関しては、文字情報だけではよく伝わらないことが、話し手の顔の表情や身振り手振りをみて理解を深めることができる。また、話し手の人生経験を通じて、当初のテーマ以外の社会の様子を知ることができる。学ぶ子供たちの興味・関心を広げる効果がある。今回は、知念から佐敷・与那原を經由して首里まで行くのに、歩いたり、客馬車に乗

ったりした戦前の交通の様子など興味深い内容があった。

6. まとめと課題

斎場御嶽の学習を通じて、次世代の子供たちや離島などの他の地域の子供たちが沖縄の伝統や文化について理解を深め、興味・関心を高めることを目指した。

小中学生向けの教材作成上の工夫に関しては、斎場御嶽に関する独特で難解な用語が多いことから、用語の表記については、漢字にルビを入れたり、発音をカタカナで表記にするなどして、小中学生が理解できるような文字情報になるよう心がけた。

地域の伝統と文化を学ぶ教材をデジタルアーカイブするためには、学習資源としての地域素材データベースの構築を行うことが基本である。そのためには大変困難な取り組みになることが予想されるが、地域の人々や子供たち、行政、学校、図書館、公民館、ボランティア等関係者が協力・連携して、地域素材データベースを「みんなで創ってみんなで利・活用するデジタルアーカイブづくり」が大きな課題である。

また、二次情報やメタデータの作成は専門性を必要とする作業である。地域素材データベースをつくることは、困難で膨大な作業であることから、デジタルアーキビストには協同作業の中心となる役割を担える力量が求められる。

子供たち自身がつくるオーラルヒストリーも重要な課題である。子供たちが地域の伝統・文化について、オーラルヒストリーという手法で、今生きている地域の古老や大人から直接学ぶことの効果は大きい。身近な伝統・文化に対する知識が広がり理解が深まるというだけでなく、撮影、録音、文字起こし、編集などの経験で情報機器操作能力を身に付けることができ、複数の子供たちが連携・協力して取材することを通してコミュニケーション能力や協調性も向上することが期待できる。

また、地域の古老などに対する尊敬の念や、礼儀等の心を育むことができることも注目すべきである。

教育課程審議会答申（昭和62年）及び「我が国の文教政策」（平成7年）で国際社会の一員である日本人は日本の「伝統」や「文化」について、知っていること「伝統」と「文化」の理解を深め、教育の推進を図ることが取り上げられている。改正教育基本法（平成18年）では教育の五つの目標の一つとして「伝統と文化を尊

重しそれらを育んできた我が国の郷土を愛すること」が明示されている。沖縄の聖地であり、世界遺産でもある斎場御嶽の歴史的・文化定価値と共に地域学習利用の手がかりとなるものである。

〈参考文献〉

- 1) 『デジタル・アーキビスト概論』 監修 後藤忠彦 編著者 谷口知司 2006年
- 2) 『国際理解と文化・伝統の尊重』 編著者 森隆夫・高野尚好 1991年
- 3) 『南城市史総合版(通史)』 南城市教育委員会 2010年
- 4) 『サイハウタキと自然』—世界遺産普及図書— 知念村教育委員会 2003年
- 5) 『知念村史』第1巻資料編1 知念村 1989年
- 6) 『知念城跡・及び周辺整備基本構想・基本計画』 知念村 1993年
- 7) 『首里城ハンドブック』 首里城公園友の会 1998年
- 8) 『沖縄県社寺・御嶽林調査報告書』 沖縄県教育委員会 1980年
- 9) 『東御廻り等関連拝所総合調査Ⅰ』 沖縄県教育委員会 1995年
- 10) 『沖縄大百科事典』全4巻 沖縄タイムス 1983年
- 11) 『みんなの宝 世界遺産よみがえる琉球の記憶』 小学生高学年用副読本 沖縄県教育委員会 2002年
- 12) 『もっと知りたい世界遺産』 中学生用副読本 沖縄県教育委員会 2002年
- 13) 『世界遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群』 高校生用副読本 沖縄県教育委員会 2002年